

症例の概要

No.	患者		1 日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 60代	アスペルギ ローマ (季節性アレ ルギー)	注射剤 400mg 2 日間 ↓ 注射剤 200mg 12日間 ↓ カプセル 200mg 9 日間	急性肺障害 非定型マイコバクテリア感染の既往歴あり。 投与開始日 アスペルギローマに対し本剤（注射剤）400mg/日にて点滴 静注開始。 投与 3 日目 本剤（注射剤）200mg/日へ減量。 投与15日目 本剤（カプセル剤）200mg/日に切り替え。 投与23日目 急性肺障害が発現。呼吸困難，倦怠感を訴え来院。 （発現日/ SpO ₂ ：91%（ルームエアー），CRP：16.1 投与中止日） 左肺にスリガラス様陰影を認めたため入院。パニペネム・ベ タミプロン点滴開始。胸部CTでも左肺全体にわたるスリガ ラス陰影を認める。 中止 4 日後 入院時より38℃台の発熱が続き，SpO ₂ 91%から5LのO ₂ 吸入 にて94%で経過。胸部X-P，CRP共に改善が見られないため パニペネム・ベタミプロン点滴からメチルプレドニゾロンコ ハク酸エステルナトリウム点滴に変更。 中止 6 日後 発熱はおさまるがSpO ₂ 83%からオキシマイザー 5L吸入にて 94%で経過。CRP 8.0まで下がるも胸部X-Pは改善が見られず。 メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム点滴から プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムの点滴に変更。 中止 8 日後 胸部X-P改善し，CRP：2.7。 中止11日後 胸部X-P上，陰影ほぼ消失。CRP：1.7 SpO ₂ 95%から99%（O ₂ 1Lカニューラにて）で経過。 中止14日後 プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム点滴から内服に 変更。 中止15日後 CRP：0.1，SpO ₂ 95%から99%（ルームエアーにて）で経過。 急性肺障害回復。	

臨床検査値

臨床検査	投与 2 日前	投与 1 日前	投与 開始日	投与 6 日目	投与 7 日目	投与 13日目	投与 15日目	投与 16日目	投与23日目 (発現日/ 投与中止日)	中止 4 日後	中止 6 日後	中止 8 日後	中止 11日後	中止 15日後
Temp (℃)	－	36.9	36.4	－	36.5	36.5	36.4	36.4	37.4	－	－	－	－	－
WBC (/μL)	5,060	－	－	3,650	－	4,870	－	－	7,010	6,460	－	－	－	－
CRP (mg/dL)	－	－	－	－	－	－	－	－	16.1	－	8.0	2.7	1.7	0.1

併用薬：カルボシステイン，デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物，レバミピド，桜皮エキス・コデインリン酸塩水和物

症例の概要

No.	患者		1 日投与量 投与期間	副作用																																								
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置																																								
2	男 60代	気管支肺アスペルギルス症 (肺気腫, 慢性閉塞性 肺疾患)	800mg 23日間	薬剤性肺障害 アレルギー歴：無 原疾患，有害事象に関連する家族歴：無 本剤投与開始前に使用した薬剤の有害事象歴：無 喫煙歴：有（40本/日） 投与 2 日前 X線にて原疾患（気管支肺アスペルギルス症）の所見のみ。 投与開始日 気管支肺アスペルギルス症に対し本剤（内用液）400mgを 1 日 2 回の投与開始。 日 付 不 明 嚥下はできているが，服用時違和感あり。 投与 2 日目 患者が食欲不振を訴えたが，本剤での治療を継続。味覚に敏 感で，オレンジジュースと混ぜたりしたが，苦味を強く訴えていた。 投与22日目 徐々に肺の画像所見悪化。吸入酸素 2 Lから 4 Lに増量。 (発現日) 薬剤性肺障害発現。 薬剤性肺障害の臨床症状：咳嗽，胸水増悪，酸素必要量増加 投与23日目 レントゲンから影が多発的に広がり，本剤による薬剤性肺障 (投与中止日) 害を疑い，本剤投与中止。 胸部X線異常所見：分布（両側性），陰影（浸潤影） 体温：38.1℃，WBC：6,170，CRP：4.8，SP-D：9.5 中止 6 日後 画像検査実施。CTにおいても多発的な広がりがみられたが， 自覚症状は改善傾向。 CT異常所見：分布（多発性），陰影（浸潤影，スリガラス影） 画像検査にて肺障害は少し回復し，吸入酸素の投与量も徐々に減っている。 中止 7 日後 苦味，食欲不振が回復 中止41日後 画像でも回復を確認。体温：36.7℃ 薬剤性肺障害の回復 本剤再投与：無																																								
臨床検査値																																												
<table><tr><th>臨床検査</th><th>投与 2 日前</th><th>投与 13日目</th><th>投与 16日目</th><th>投与22日目 (発現日)</th><th>投与23日目 (投与中止日)</th><th>中止 11日後</th><th>中止 41日後</th></tr><tr><td>CRP (mg/dL)</td><td>－</td><td>2.5</td><td>2.8</td><td>－</td><td>4.8</td><td>2.8</td><td>－</td></tr><tr><td>WBC (/μL)</td><td>－</td><td>5,410</td><td>5,540</td><td>－</td><td>6,170</td><td>8,460</td><td>－</td></tr><tr><td>Temp (℃)</td><td>37.0</td><td>－</td><td>－</td><td>37.2</td><td>38.1</td><td>－</td><td>36.7</td></tr><tr><td>SP-D (ng/mL)</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>9.5</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>					臨床検査	投与 2 日前	投与 13日目	投与 16日目	投与22日目 (発現日)	投与23日目 (投与中止日)	中止 11日後	中止 41日後	CRP (mg/dL)	－	2.5	2.8	－	4.8	2.8	－	WBC (/μL)	－	5,410	5,540	－	6,170	8,460	－	Temp (℃)	37.0	－	－	37.2	38.1	－	36.7	SP-D (ng/mL)	－	－	－	－	9.5	－	－
臨床検査	投与 2 日前	投与 13日目	投与 16日目	投与22日目 (発現日)	投与23日目 (投与中止日)	中止 11日後	中止 41日後																																					
CRP (mg/dL)	－	2.5	2.8	－	4.8	2.8	－																																					
WBC (/μL)	－	5,410	5,540	－	6,170	8,460	－																																					
Temp (℃)	37.0	－	－	37.2	38.1	－	36.7																																					
SP-D (ng/mL)	－	－	－	－	9.5	－	－																																					
併用薬：トラセミド，インダカテロールマレイン酸塩，カルボシステイン，カスポファンギン酢酸塩																																												

本剤（内用液）の承認された用法・用量は，1 日20mL（イトラコナゾールとして200mg）であり，1 回量の最大は20mL，1 日量の最大は40mLです。